

■会長/加藤明博 ■幹事/川村総一郎

◆司会=五味武嗣 SAA

◆ゲストビジター=国際ロータリー第2600地区諏訪グループ
ガバナー補佐 吉澤 邦雄様

◆出席報告

本日	68.00%	16名欠席
前回訂正	80.00%	10名欠席

◆ラッキーナンバー=No.38 早出由男君

◆ニコニコボックス=●加藤明博君・川村総一郎君=諏訪グループ吉澤ガバナー補佐ようこそおいでくださいました。本日は宜しくお祈いします。●八幡一成君=吉澤ガバナー補佐ようこそ。●伊藤武利君=早出先生 お世話になりました。これからも遊びに来てくださいね。●北川和彦君=早出先生、長い間お世話になりました。さびしくなります。●川村総一郎君・玉本広人君・小平直史君・宮坂康弘君・合田敦子君=早出会員、ありがとうございます。お疲れさまでした。●早出由男君=早くコロナがおさまりますように。●加藤明博君=先日、フェリススクレール様の50周年パーティーに川村幹事と共に招待頂きました。古屋会員お世話になりました。●早出由男君=ラッキーナンバーに当たって。

◆会長告知・加藤明博君=多くの人が、みんな幸せになりたいと思ひながら生きています。しかし実際には、幸せを実感しながら生きてると自信を持って言える人はどのくらいいるのでしょうか。また、何をもって幸せと感ずるか人はそれぞれだと思ひます。

ベントに乗ったり、ロレックスの時計を腕に巻いたり、アルマーニのスーツを着たりすること、つまりお金に幸せの価値観を求める人も居るのではないかと思ひます。しかし、幸せな人生を送るために沢山お金を稼いでも、心の底から幸せを実感できない人もいるのではないのでしょうか。では何を持って人は幸せと感ずるのでしょうか。経済的に恵まれた状態が幸せだと思ひる人もいれば、愛し合えるパートナーがいること、心身が健康であることを幸せと感ずる人も居ると思ひます。

誰しもが幸せになりたいと思ひながら生きてはるはずで。何時どんな時に幸せを感ずるかは人によって異なると思ひますが、私が幸せを感ずる瞬間は、グテングテンに酔って帰って来て布団に倒れこんだ際に、家の者が優しく布団を掛けてくれた時。スーパーで買ってきた魚をふっくらと焼き、朝食に出してくれた瞬間。また風呂上りにそっと置いてある清潔な下着を見た瞬間。私はその様な身近なことに幸せを感ずります。人は物欲に幸せを求めれば限りがないのでないのでしょうか。ベントを手に入れば、次にはベントレーが欲しくなり、ベントレーを手に入れば今度はロールスロイスが欲しくなる。あったら良い物は沢山ありますが、それらの殆どは案外無くて良い物ばかりなのではないかと最近思ひようになってきました。以前にもお話ししましたが、人は他人の幸せを自分の物差しで測る事を辞めてしまえば、小さな幸せは沢山身近にあるような気がします。

出来ない事、物が無い事を嘆くのではなく、今あるもの、今

出来る事を楽しむ。

そんな小さな事柄の中に幸せは隠れているのではないかと思ひます。江戸時代の庶民の一番の楽しみは、家族で食べる食事中の会話だと聞いた事があります。今の時代の様に、電気も無く、スマホやパソコンなども無かった時代。家族で話す会話が一番の御馳走であったのではないのでしょうか。物が溢れているから幸せ、物が足りていないから不幸せ。これも以前お話をさせて頂きましたが、私は昭和、平成、令和と生きて来ましたが、一番物が足りていなかった昭和の時代が一番良かったような気がします。又何げ無い日常に関して、身近なものにも、もっと良く目を向けて小さな幸せを拾っていきたく強く思ひようになりました。

楽しみや幸せは身近なところに隠れているのかもしれない。幸せになろうとするのではなく、実は幸せや楽しみは身近に溢れている事を感じていきたく思ひます。

◆幹事報告・川村総一郎君=本日の例会はクラブ協議会。ガバナー補佐訪問です。吉澤邦雄ガバナー補佐にお越しいたひです。後ほど卓話をよろしくお祈いいたします。地区より三井会員に諮問委員会委員の委嘱状が届いてお祈います。米山奨学会より諏訪クラブへ43回目の米山功労クラブ感謝状が届いてお祈います。また、北川会員に2回目の米山功労者感謝状が届いてお祈います。早出会員が本日をもって諏訪クラブをご卒業されます。後ほどご挨拶をお祈いいたします。本日アクト合同例会のご案内をいたしました。参加可否を期日の3/3までに必ずご返信をよろしくお祈いいたします。3月からの例会開催方法について本日例会終了後に臨時理事会を開催いたします。協議結果は来週初旬に出席委員会よりご連絡をいたします。

◆委嘱状伝達と表彰●諮問委員会委嘱状伝達=三井章義君。

●米山功労クラブ(34回目)表彰伝達=加藤明博君。



●米山功労者(2回目)表彰伝達=北川和彦君。



それぞれ、吉澤ガバナー補佐より委嘱状と表彰状が伝達されました。

◆退会あいさつ・早出由男君=私は令和5年2/28をもって残念ですが、諏訪ロータリークラブを退会させていただきますことになりました。加藤会長さん



はじめ会員の皆さまには、大変お世話になりありがとうございます。私が諏訪ロータリークラブに入会させていただいたきっかけは、平成6年に山崎

壮一様、細川昭八様が私の事務所に来られて「ロータリークラ

ブに入会しないか」とお誘いをいただいたことでした。私はロータリークラブとはどんなクラブなのか全く知らず、入会をお断りしましたが、その後も山崎様と数回お会いして、ロータリークラブとは何かを教えていただき、例会に出席できなくても名前だけでもいいから入会するよう説得されましたので、平成6年10月に当クラブに入会させていただきました。私は当時本業が多忙で例会に欠席続きの不良な会員となってしまいました。ところが、たまたま出席した例会の時に、三井章義様の講話でロータリークラブはシカゴの弁護士ポールハリスによって創始された組織であることをお聞きして、私も弁護士として業務に勤めていたので興味を抱くようになりました。できる限り例会に出席するよう努力するようになりました。ロータリークラブのメンバーは多業種の方々の集まりであるため、私の知らない職業の内容や社会情勢、経済状況等を教えていただくことができ、これらの知識を仕事の中に生かすことができ大変役に立ちました。私は現在85歳と高齢者となり、約20年前に胃がんで胃の大半を切除し、歯は総入れ歯で食事は進まず、例会で皆様と一緒に昼食を取ることも困難な状態となっているため、皆様にご迷惑をおかけしてはいけないと気にしております。このような状態です。身勝手とは存じますが、当クラブを退会させていただくことになった次第でございます。長い間本当にありがとうございました。また、ぬのはんの皆様にも長い間お世話になり、心から感謝申し上げます。皆様のご健勝と諏訪ロータリークラブの益々の発展をご祈念申し上げて退会のご挨拶をさせていただきます。本当に長い間ありがとうございました。

◆クラブ協議会●国際ロータリークラブ第2600地区諏訪グループガバナー補佐 吉澤邦雄様＝私の職業はスイミング



クラブを中心としたスポーツクラブを経営しております。最初のクラブができて、45、6年になります。発足当初は地元の高齢者の方々に睡眠クラブっていうのは、昼寝でもするクラブかなんてことを言われ、そのくらい認知度は低かったわけです。最近、認知度は高まってまいりましたけれど、少子高齢化、コロナ禍の影響、光熱費の高騰等で大変苦戦しているというのが現状です。

今日は若い時に初めて海外旅行に行った話をさせていただきたいと思います。今から50年ほど前20歳の頃です。アルバイトをして貯めたお金は7—8万でした。それを持って1カ月ほど昆虫採集を兼ねながら台湾旅行をしました。今のように台湾は当時、近代化はされておりませんで、だいぶ昔の日本の戦後とは言いませんけれど、それに近いような形でありまして、台湾各地をくまなく回ってまいりました。途中で体に異変が起きてしまったんです。当時の台湾は、上水道が整備されてなかったんですね。行く前から向こうの水道水は腹を壊すから絶対飲むなよって言われていたんですけど、暑さとか疲労とかがありまして、つい飲んでしまったんです。それで3日ほど強烈な腹痛と下痢が起きました。当時泊まっていた宿で同宿していた初老の老人に助けてもらったんですが、60歳以上の人って、その当時片言の日本語を喋れたんですね。子供の頃に日本語教育を受けているということで、私に「お前大丈夫かって」というようなことで、その人

に付き添ってもらって2、3日して、薬屋に連れてってもらって、胃腸薬を買ったんです。それを飲んだら効いたんです。下痢と腹痛が止まりました。ただし、全然食べることができない。今度はその宿の80歳近い女主人が私のところへ来て、あんまり気の毒だっことで、味噌汁を作ってくれたんです。本当に美味しかったですね。日本で飲むような味噌汁を作ってくれまして、体力を回復したということです。それで、台湾1周を無事に終えて、日本に帰ってくることができました。当時独りぼっちになった時に、向こうの年配の方に助けられたって今でもしっかり覚えています。わずか1カ月の経験でしたけれど、本当に困った時に人間の優しさありがたさを、その時につくづく感じて、今でも大切な財産だと思っております。インドネシアの島に行った時も、そういう経験をしたことがあります。本当に困った時に、言葉は全然通じないんですけど、困ったことを体で表現すると原住民の人も意外とわかってくれるんです。安全なところに連れてってくれ、チョウチョウの網を持った手を引っ張って、こっちにたくさんいるよって、連れてってくれたこともあります。言葉は通じなくても、親しく付き合っていると心は通じるんだなということを感じました。

私は東南アジアの人たちに対しては、ありがたいていう経験があるので、いろいろやってあげたい気持ちは今でもあります。米山奨学生も、ほとんどが中国の方なんです。できれば、もう少し東南アジアの学生に米山奨学生の制度を知ってもらって、使っていただきたいなと私、個人的には思っています。私のロータリー活動、特に国際奉仕とか、青少年奉仕活動に対しては、そんなことが原点にありまして、少し力を入れて今まで来ました。

諏訪湖ロータリークラブはフィリピンのセブ島の小学校に、日本の使わなくなったピアノを県内中から集めて整備して送っていました。使い方がわからないってことで、当時下諏訪中の先生2人が向こうに行ってピアノの使い方を指導してくれました。私がちょうど会長をしていた諏訪湖が30周年の時にセブ島で音楽会を開きました。その後も交流がありまして、向こうの先生たちをこちらにお呼びして、日本の実情、学校の状況を見てもらいました。「skype」を使って、やり取りをしようとしたんですが、回線の状態があまり良くて、うまく繋がらなかったんですけど、そういう交流の場を1回設けました。セブ島の子供たちと先生たちとの交流を今でもやっています。ピアノをそろそろまた溜まっているんじゃないかと思ひまして。それを集めて、もう1回向こうで音楽会を開けたらいいかなと思っています。

今後、IMを含めてコロナ禍の後の活動を「ウィズコロナ」のもとに何とか、新しい活動を進めていきたい。もう1回前のように活発な活動をしていくためには、何をしたらいいかを考えて、早々に新しい活動を起こしていきたいと考えておりますので、今後どうぞよろしく願いいたします、ありがとうございました。

◆今後の例会日程

3/3(金)	クラブフォーラム(会員卓話)
3/10(金)	アクト合同例会(夜間例会)
3/17(金)	クラブ協議会(上半期会計報告)

